



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年12月14日(月) 第18回 通算第1582回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第18回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
- ◇ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
ちゃんこ若葉山 店主 大波 政志 様
- ◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



師走に入り、2度目の例会ですが今年の例会も残すところ来週の忘年会のみとなりました。今日は、朝から小雪が舞い寒さも厳しく、「いよいよ冬本番だなあ」と実感したところでもあります。本来なら今頃は、忘年会シーズンの

真ただ中、街も年一番の賑わいの中にあるはずですが、先頃の集団感染があって以来、市中では二次感染、三次感染と拡大し、各方面で予定されていた宴会は軒並み中止となっているようです。先週末、県北第一分区の会長幹事会が開催されましたが、ここでも議題は新年会開催の是非についてでした。ホストクラブの福島中央クラブさんでも相当に頭を悩ませながら、様々なケースを想定し準備をされているとのことでした。1月4日の開催を予定していますが、同日に開催予定の市民交歓会が中止になった場合は、即中止にします。それ以外には21日時点での感染状況により第一段階判断、その後29日までに最終判断をするとのこと、開催内容についても、例会のみとしてお持ち帰りにお弁当を用意する案なども検討されているとのこと、いずれにしても状況を見ながらの決断になるということですので、参加予定の方は連絡が取れるようにしておいてくださいますようお願いいたします。当クラブの忘年会は、ソーシャルディスタンスをしっかり保ち感染予防対策をしたうえで実施の予定としておりますので体調を整えてご参加くださいますようお願いいたします。

次に、来年の分区事業についての協議も行いました。その中で、当クラブが主管いたします次期幹事セミナーの開催についての日程が2月13日の土曜日に決定いたしましたのでお知らせいたします。これに向けては、実行委員会を早急に立上げ急ピッチで準備を進めていきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いいたします。

余談ですが、会長幹事会の開催にあたって、出席者の中に濃厚接触者該当者がいるとかいないとか、風のうわさがありました。今回、当クラブがホストでしたので私もどうすべきか悩んでしまいました。厚労省の通達に依れば、濃厚接触者に該当した場合は、おおむね14日は、不要不急の外出は避けるようにとの指導が出ており、事実を伏せて会議を行うなどあってはなら

ないと思いつつも、あなた、コロナじゃないんですかと聞くのも気が引けて・・・という感じです。意を決して直接確認したところ、経過を丁寧に説明してください安心して開催することができ、出席することもできましたし、心配する皆さんに説明することもできました。巷では誹謗中傷や差別などということもよく耳にしますが、正しい情報と判断をすることの大切さを実感したところであります。

さて、今日12月14日は、今年の漢字一文字がこの後2時ごろ発表されるとのことです。町の予想では「密」がトップにランキングされているようですが、以前、会長挨拶の際に私も予想したのを皆さん覚えていらっしゃいますか? コロナ禍の「禍」と申し上げたのですが、皆様はどんな一文字を予想されますでしょうか、結果が楽しみです。本日は、福島の希望の星といっても過言ではないでしょう、大相撲大波三兄弟の生みの親である、ちゃんこ若葉山の大使大波政志様、大将のお話を楽しみに会長挨拶とさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

○例会変更のお知らせ

・福島北RC・福島東RCは12月中のすべての例会は中止になりました。

・福島RC、17日(木)の年忘れ家族夜間例会は中止となっております。

○その他のお知らせ

・12月ロータリーレートは1ドル105円となりますのでお知らせ致します。

◇委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智弘 委員長
○黒澤信之会長=本日はちゃんこ若葉山の大使大波政志様にお越しいただきました。後ほどお話し宜しくお願ひいたします。

○齋藤武二会員=大波三兄弟の前途を祝して。孫のラグビーチームが福島県優勝。花園出場決定記念に。
○久米允彦会員=若隆景関の先場所の成績は立派でした。負越しましたが、来場所は三役にも実力で通じるでしょう。楽しみです。

○宮崎秀剛会員=本日も宜しくお願いします。

——大波三兄弟の父「ちゃんこ若葉山」店主

大波政志様を迎えて——

○佐藤慶行幹事 ○相澤 隆 会員 ○大平謹一郎 会員

○佐藤宗弘 会員 ○高梨哲男 会員 ○長島健博 会員

○野尻榮一 会員 ○渡辺敬藏 会員 ○高橋智弘 会員

本日のスマイリングBOX集計13件 29,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——ゲストスピーチ

「ちゃんこ若葉山」店主 大波 政志 様
今回のゲストスピーチは若隆元(大波渡さん)・若元



春(大波港さん)・若隆景(大波渥さん)の父、「ちゃんこ若葉山」店主の大波政志様をゲストとしてお迎えし、黒沢信之会長と対談形式にてお話いただきました。

(黒：黒沢信之会長、大：大波政志様)

黒：この度は福島西RCの例会にお越し頂きありがとうございます。まず始めに大波さんの自己紹介等プロフィールを教えてくださいませんか。

大：私は昭和42年生まれの54歳です。福島市出身で、福島三小、福島二中を卒業しました。14歳の時に立田川部屋、当時の横綱鏡里の元入門し、力士は7年間やりました。その時の親方(若葉山)の娘さんが、私の妻になります。福島に戻り23年になりました。

黒：入門はどのような形でされるのですか

大：新弟子検査が3月にありまして、当時はほとんどの人が中卒でしたから、中学卒業見込書をもって、検査を受けました。私の時は100人以上の人が検査を受け、173cm以上、75kg以上という規定をクリアし新弟子となりました。

黒：相撲人生は7年間ということですが…

大：師匠の定年と共に辞めると決めていたので、そのタイミングで力士を辞めるまで7年間相撲を取りました。当時は「若信夫」という四股名で幕下までいきました。自分の部屋の師匠は鏡里以外考えられないという思いがあり、師匠が辞めるまでに自分の目標に到達しなければ辞めようとしていました。

黒：力士の世界は厳しいとお聞きしますがその辺りはいかがなのでしょう。

大：昔はそれこそ江戸時代の武士のような、戦時下の軍隊のような世界でした。今は情報も発達し、とても良くなったと思います。給料は十両からもらえるようになり、幕下は各部屋で面倒を見ているような状態です。幕下の筆頭と十両の十四枚目では一枚しか変わらないのですが、もらえる金額には天と地の差があり、力士にとって一番嬉しかったことはと聞くと、みんな十両になった時と答えるくらいです。

解説 上から横綱、大関、三役、幕内、十両、ここまでが付き人が付きます。それから幕下、三段目、序二段、序ノ口となります。

黒：そんな厳しい世界に三人の息子さんを送った父親として、息子さん達の現況とまた指導者として関わってきたの思いなどをお聞かせください。

大：三男、若隆景については、今回成績がとても良く力がついてきているなど感じています。「2桁とって三役になる」と大きなことを言っていますが、思った以上に活躍できるのではないかと望みを持っておりまして。次男の若元春については、幼少の頃からピカイチの相撲センスがあり、朝乃山と同等の評価を得ていました。ただ、性格が大人しく欲があまりないところがあり、その辺りを克服してもらいたいと感じております。家族ができればその辺も変わっていくのではと思っています。長

男の若隆元は現在下の二人より番付が低い幕下という立場にあり、三男・若隆景の付き人をしているので、自分のことより弟の面倒を見ながらということになかなか相撲に集中することができなく、可哀相な立場にあるのが現状です。実力としては関取になれる力は十分に持っていると思っているので、親としては長男に是非ともひと花咲かせて欲しいと強く願っております。

黒：現在28歳ということでもあるので、なんとか最後にひと花咲かせて、是非とも三兄弟関取という夢を果たしてほしいと、長男である私も強く願っております。では、最後に会員の皆様より質問コーナーを設けましたので、ご質問ある方はいらっしゃいますか。

高梨哲男会員：三兄弟の名前の由来を教えてください。

大：先代の師匠から、三兄弟で力を合わせて頑張っていってほしいということで毛利元就が三人の息子に説いたとされる「毛利三兄弟の三本の矢」からとって名付けていただきました。毛利三兄弟(毛利隆元・毛利元春・小早川隆景)は広島の英雄なので、なんで福島なのにと問われたのですが、今となっては広島の方たちも一緒に応援してくれていて、隆景米というお米と一緒にPRしたりしています。

相澤隆会員：親として三人の息子達に対して感じることはどんなことですか。

大：三人で稽古をさせると長男が一番強かったりします。ところが、実家に帰省していても下二人が関取なものですから、長男が着物をたたんだりしているのを目にすると、親として心が痛む時があります。力士のしきたりなので仕方ないとは思いますが、辛いと感じます。兄弟仲としては、長男は下二人から尊敬されていて、下二人は昔から張り合っていて仲は実はあんまり…(笑)などところがあるのですが、次男の若元春が「来年は若隆景に追いつくよ」と言ったものですから、ちょっと嬉しかったですね。

黒：今日は貴重なお話をお聞かせいただきまして誠にありがとうございました。三人の更なる活躍をクラブとしても応援させていただきたいと思っております。



◇閉会点鐘

黒 澤 信 之 会 長